

様式1-1

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

品種名 メルロー

圃場状況

場所 佐久市印内674-18
標高 700m
仕立て方 垣根式 ギュヨ/コルドン
列の向き 東西
植付の間隔 列間2.5m × 樹間1.25m
土壌条件 粘土質

栽培状況

定植日 H29/6/11

施肥日 H28/開墾後 苦土重焼リン:60kg、苦土石灰:150kg、
牛ふん樹皮バーク堆肥:200L
H29/定植時 無施肥
H30/2年目 4月:ホウ素10g、6月:硫安25g

防除日 ①06/05 ジマンダイセン、ダイアジノン
薬剤の種類 ②6/17 ジマンダイセン、フルピカフロアブル、パダンSG
③6/24 コサイト3000、クレフン
④7/2 コサイト3000、パダンSG
⑤7/10 コサイト3000、アーデントフロアブル
⑥7/21 コサイト3000
⑦8/3 コサイト3000
⑧8/中旬 省略/収穫前最終

管理作業

かん水 5/24、8/6、8/26
除草 5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック 巡回/捕殺
防獣ネット張り 5/4
枝整理 11月末
凍害対策 対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長：1.6m以上

樹勢：普通

＜仮植え中にて参考として3年目の木の状況＞

写真



考察

1. H31年にメルロー種畑の最南列に移植する

2. 3年目からコルドン仕立てにする

様式1-1

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

品種名 シャルドネ

圃場状況

場所 佐久市印内677-16
標高 750m
仕立て方 垣根式 ギュヨ
列の向き 東西
植付の間隔 列間2.5m × 樹間1.00m
土壌条件 粘土質

栽培状況

定植日 H29/5/21

施肥日 H29/開墾後 炭カル:160kg、ようりん:260kg、牛ふん堆肥:500kg、
苦土石灰:畝列(計20kg)

種類:量 H30/2年目 4月:ホウ素10g、6月:硫安25g

防除日 ①06/05 ジマンダイセン、ダイアジノン
薬剤の種類 ②6/17 ジマンダイセン、フルピカフロアブル、パダンSG
③6/24 コサイト3000、クレフロン
④7/2 コサイト3000、パダンSG
⑤7/10 コサイト3000、アーデントフロアブル
⑥7/21 コサイト3000
⑦8/3 コサイト3000
⑧8/中旬 省略/収穫前最終

管理作業

かん水 5/24、8/6、8/26
除草 5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック 巡回/捕殺
防獣ネット張り 5/4
枝整理 11月末
凍害対策 対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長：160cm以上

8/9摘芯実施、全体的に伸びが良い。

樹勢：強め

2年目で急激に成長し主幹径も他品種と比べて1.5倍あり

写真



考察

1. 半数程度の株に1樹あたり6房程度の着果あり、経過観測した。

7割は獣による食害で収穫は参考程度

2. 2年目では房のサイズは100g程度が多かった

様式1-1

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

品種名 アルモノワール

圃場状況

場所 佐久市印内674-16
標高 700m
仕立て方 垣根式 ギュヨ
列の向き 東西
植付の間隔 列間2.5m × 樹間0.75m
土壌条件 粘土質

栽培状況

定植日 H29/04/27

施肥日 H29開墾後 炭カル:240kg、ようりん:80kg、牛ふん堆肥:全面1.5t、
苦土石灰:畝列(計60kg)

種類:量 H30/2年目 4月:ホウ素10g、6月:硫安25g

防除日 ①06/05 ジマンダイセン、ダイアジン
薬剤の種類 ②6/17 ジマンダイセン、フルピカフロアブル、パダンSG
③6/24 コサイト3000、クレフソ
④7/2 コサイト3000、パダンSG
⑤7/10 コサイト3000、アーデントフロアブル
⑥7/21 コサイト3000
⑦8/3 コサイト3000
⑧8/中旬 省略/収穫前最終

管理作業

かん水 5/24、8/6、8/26
除草 5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック 巡回/捕殺
防獣ネット張り 5/4
枝整理 11月末
凍害対策 対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長:最長約130cm

芽欠き1回となったためか車枝が多く出てしまった。

樹勢:2年目から強めになってきた感じである。

写真

着色時



考察

1. 1樹あたりに多数の房の着果あり、経過観測した。

小房が多く粒サイズもまばらにて参考収穫した。

2. 2年目では房のサイズは50g程度が多かった(成らせ過ぎ)

3. 葉ダニが多く発生した。

様式1-1

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

品種名 ピノグリ

圃場状況

場所 佐久市印内674-16
標高 700m
仕立て方 垣根式 ギュヨ
列の向き 東西
植付の間隔 列間2.5m × 樹間0.75m
土壌条件 粘土質

栽培状況

定植日 H29/4/27

施肥日 H29開墾後 炭カル:240kg、ようりん:80kg、牛ふん堆肥:全面1.5t、
苦土石灰:畝列(計60kg)

種類:量 H30/2年目 4月:ホウ素10g、6月:硫安25g

防除日 ①06/05 ジマンダイセン、ダイアジノン
薬剤の種類 ②6/17 ジマンダイセン、フルピカフロアブル、パダンSG
③6/24 コサイト3000、クレフン
④7/2 コサイト3000、パダンSG
⑤7/10 コサイト3000、アーデントフロアブル
⑥7/21 コサイト3000
⑦8/3 コサイト3000
⑧8/中旬 省略/収穫前最終

管理作業

かん水 5/24、8/6、8/26
除草 5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック 巡回/捕殺
防獣ネット張り 5/4
枝整理 11月末
凍害対策 対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長:最長約120cm

芽数は少な目に感じる

樹勢:弱め

写真

着果時



考察

1. 1樹あたりに少数の房の着果あり、経過観測した。

獣害が早く観測は途中で終わり、収穫に至らず。

2. 2年目では着果せないほうが良かった

4. 3年経過観測後、別のピノグリ種畑に

移植する予定